

丹沢：葛葉川本谷

- ◆日程 2022年7月10日(日)
- ◆メンバー L：ST、TY、DT(あ)、SD)、OY
- ◆天候 曇り

今年は早い梅雨明けであったが戻り梅雨のような天気が続く中、晴れ間を狙っての沢登り、丹沢初級の沢として定番の葛葉川の遡行に参加した。自身としては1年振りの沢登りということもあり、装備品のパッキングに手間取りながらも、集合場所の秦野駅へ向かった。葛葉川は入渓地点まで車で入れるのが魅力？で、秦野駅から2台の車で葛葉の泉へ乗りつける。駐車場で沢装備をし、すぐに入渓する。

予報通り下界は晴れているようだが山は曇り空、梅雨空が続いたこともあるのか水量は少し多めのようで、沢の中は快適な気温であった。葛葉川は大きな滝こそないが、数～10m程度の滝が続き、難易度もそれほど高くなく楽しい沢である。経験者4名は思い思いに滝を攻略するが、丹沢の滝登りに慣れないDTさんには、要所でお助け紐をたらし、安全に登攀をすることで滝を巻くことなく進む。4段の連瀑、横向ノ滝などは水量もあり水を被るが、むしろ涼しい感じさえあり、快適に遡行することができた。前半の核心(?)板立ノ滝は、水量が多く流心から左側ですべて水が流れている状態、諦めて右側を登った。



林道を潜ってからの後半戦、CSや小滝の連続など、飽きの来ない遡行が続く。後半戦の核心部は富士形ノ滝2段10m、TYさんは流心を登り、私は右側の壁を登るなど、各自のレベルに合わせてルートを選んで登る。最終の9mの滝(名前はないようだ)、中央部がスラブ状で一見すると難しくなさそうであるが、目立ったホールドもなく水が流れていることもあり滑りそうである。私は早々に諦めたが、SDさんがチャレンジ! 上部からTYさんが確保し、かなり格闘したが、残念、完登ならず次回に期待したいところである。



ここから尾根への詰め上がりであるが、かなり明瞭な踏み跡があり、STさんのルーファイも適切だったため、難なく尾根に上がることができた。三ノ塔から二ノ塔を経由し、尾根伝いに下山した。下界の蒸し暑さもなく、小気味よい小滝の連続で、快適な沢登りであった。

(記：OY)

CT：葛葉ノ泉 8:57 - 葛葉川本谷(入渓) 9:28 - 三ノ塔 14:37 - 二ノ塔 15:00
- 葛葉ノ泉 16:18